国際円座　都市における貧困と救済

主催：近世大坂研究会・大阪市立大学都市研究プラザ都市論ユニット・大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター

日程：12 月 1 日（土）・2 日（日）
会場：大阪市立大学経済学部棟 2F 第 4 会議室

日本列島社会の近世は巨大都市の展開によって特質づけられるが、それは一方で都市の社会的周縁に多様な社会集団を展開させることをも意味した。近世大坂研究会は、〈法と社会〉という分析視角から、近世大坂を主な対象に、こうした周縁的な社会集団の存立構造〈身分的周縁〉を解明することを課題として共同研究を進めてきた。これを通して、近世都市の身分的周縁を把握する分析方法を開発し、日本国内はもちろん、大規模な都市を発展させたアジア・ヨーロッパの近世身分社会の〈比較類型史〉へとつなげていくことを企図している。

その一環として、今回、国際円座「都市における貧困と救済」を企画した。比較の基軸は多様にありうるが、貧困と救済の問題を通して都市社会の実態に迫ることはその重要な一つであろう。ひざを突き合わせた議論の場＝《円座》へ、みなさんの参加をお待ちしています。

1 日目　（12 月 1 日）13:00 ～ 17:00

【問題提起】 13:00 ～ 13:50
塚田孝（大阪市立大学）「都市における貧困と救済－身分的周縁の比較史へ－」

【セッション Ⅰ】 ヨーロッパにおける貧困と救済　14:10 ～ 17:00
マリア・ジュゼッピーナ・ムッザレッリ（ボローニャ大学）「中世末期イタリアにおける貧困への対処」
ムッザレッリ報告をうけてコメント
大黒俊二（大阪市立大学） イタリア史の立場から
高澤紀恵（国際基督教大学） フランス史の立場から

2 日目（12 月 2 日）10:00 ～ 17:00

【セッション Ⅱ】 近世における貧困と救済　10:00 ～ 12:30
海原亮（住友史料館）「都市大坂における商家奉公人の貧困と救済―住友家の事例から」
齊藤紘子（学術振興会特別研究員 PD）「村落社会における「極困窮人」への施行・御救―泉州泉郡池上村を中心に―」
ジョン・ポーター（大阪市立大学都市研究プラザ）「明治初期大阪における貧民の救済と統制」

【セッション Ⅲ】 近代都市における貧困と救済　13:30 ～ 16:00
廣川和花（大阪大学）「＜国際的潮流＞のなかの近代日本の医療環境－ハンセン病問題を事例に－」
張智慧（上海大学）「戦前上海における日本人居留民の貧困と救済」
飯田直樹（大阪歴史博物館）「近代大阪の貧困と救済―警察社会事業と大阪府方面委員制度を中心に―」

【総合討論】 16:10 ～ 17:00

JR阪和線「杉本町駅」下車、
西口より徒歩約5分

※諸般の事情により、先にご案内のプログラムから
一部変更があります。ご注意ください。

（連絡先）大阪市立大学大学院文学研究科　塚田孝研究室　06-6605-2390